



◇学校教育に関するアンケート（保護者・児童）結果について◇

11月末に実施しました学校教育に関するアンケート結果がまとまりました。アンケートは全部で17項目あり、それぞれの番号の項目に対して類似した内容の児童アンケートも学校で実施しました。保護者の方にはアンケートにご理解、ご協力いただきありがとうございました。

「学校は楽しい」、「きまりを守る」、「持ち物の確認をする」、「友だちの気持ちを考えて行動する」、「話を聞く」、「良さを認めたりほめたりする」、「放課後に外出する際のルールを守っている」、「基礎・基本の習得（授業はわかりやすい）」「困ったことを相談できる」については、保護者、児童ともに肯定的な回答が多かったです。

「進んであいさつする」、「困ったことを相談できる」については、保護者が80%以上肯定的に回答しているのに対して、児童は77%～79%でした。「学校のホームページや学校だよりを見る」については、保護者が90%以上に対して、児童は40%でした。

「家庭学習の習慣が身についている」、「スマートフォンやゲームなどの約束を守る」、「時間を守って行動する」、「手伝いをする」については、児童の90%近くが肯定的に回答をしているのに対して、保護者は80%以下で70%に達していないものもありました。

保護者、児童ともに課題があったのが、読書と運動でした。読書については「進んで読書をする」の保護者の肯定的な回答は40%で、「本を読むのが好き」の児童の肯定的な回答（68%）を大きく下回りました。「運動や外遊びをよくしている」は保護者（69%）、児童（79%）でした。

課題があるアンケート結果のみ紹介しました。全アンケート結果については、河曲小学校の学校ホームページ（ホームページ）のお知らせでも紹介していますのでご覧ください。

学校教育に関するアンケート(保護者用)結果より(11月実施)

□はい □どちらかといえば「はい」 ■どちらかといえば「いいえ」 ■いいえ

数字は%

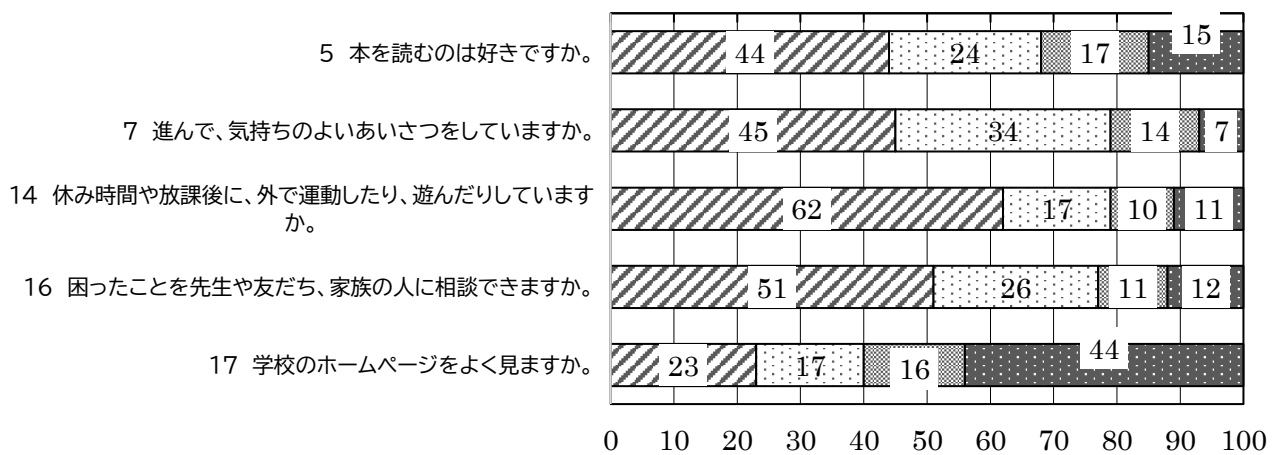


0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

学校教育に関するアンケート(児童用)結果より(11月実施)

□はい □どちらかといえば「はい」 ■どちらかといえば「いいえ」 ■いいえ

数字は%



○「読書」について

読書は語彙力を養うだけでなく、未知の世界への扉を開き、豊かな感性を育む「心の栄養」です。今年度は「一人年間40冊」を目標に掲げ、全校で読書活動を推進してきましたが、平均貸出数は目標に届かない状況です。次年度へ向けて司書教諭と連携した「お薦めの本紹介」や「読み聞かせ」を充実させ、図書室を「行きたくなる場所」へと整えていきたいと思っています。また、学校で読書時間の確保にも努めていきたいです。「この本、面白いよ」という一言が、こどもにとって一生の宝物となる一冊との出会いになるかもしれません。ご家庭でも読書の時間を作ったり読み終えた本の感想を共有したりしてみてください。

○「運動」について

学校での運動習慣づくりは、健やかな成長に不可欠です。本校では朝休みや業間休み、昼休みに、こどもたちが自発的にボール遊びや鬼ごっこなど、のびのびと体を動かせる環境があります。レク係が遊びを計画して楽しい遊びをしている学級もあります。6年生が1年生を誘って一緒に遊ぶ姿もあります。また児童会の大縄跳び大会に向けた練習や縄跳や鉄棒カードの活用で自主的に友だちと誘い合って練習している姿もあります。学校でできることは、運動を「義務」ではなく「楽しい遊び」に変えることです。友だちと競い、励まし合う経験を大切にしていきたいと考えています。ご家庭でもお子さんから学校での遊びの様子を聞いてみてください。

○「あいさつ」について

学校では教師が自分からあいさつする姿を見せ、学校でも地域でもお世話になっている方に進んでできるよう指導しています。ご家庭でもあいさつの習慣づけをお願いします。

○「スマホやインターネットの使い方」について

学校では引き続き情報モラル教育を積極的に進めます。学年初めに鈴鹿市から借用しているクロームブックの正しい使い方についても指導していきます。ご家庭でもSNSやオンラインゲームの危険性を十分に理解し、どんな使い方しているのか必ず把握ください。また、お子さんと一緒に使い方の約束を考え、きちんと守れているか確認することも大切です。